

# 新型コロナウイルス検査のご提案



ミラリス・アセスメント株式会社

## 新型コロナ抗体検査とは？

### 【現状の問題点】

無症状の健常者の新型コロナの感染状況を検査する方法がない。

### 【目的】

- ・取引先、社員への「安心」提供
- ・社員、社員家族の福利厚生
- ・新型コロナの感染状況を適宜確認
- ・感染予防、感染拡大を抑制

### 【対象】 無症状の健常者

\*症状が出ている人は、通常の保健所～病院ルートで受診してもらう。



# 新型コロナ抗体検査の方法

【対象】 無症状の健常者

【検査3パターン】

## 1、診療所における医師抗体検査

→抗体検査：採血（遠心分離、血清）、  
指先穿刺（せんし、全血）

## 2、客先（会議室）での自己抗体検査

→自分で指先穿刺（全血）

※診療所登録がないと採血不可のため

## 3、PCR検査（唾液）場所はどこでもOK

→キットを購入し、唾液を検査会社へ

【違い】

1の血清の方が全血より10%程精度高い

2は、慣れるまで、検査失敗が多い

指先穿刺が怖くてできない人も多い

## 3が一番良い、コストがかかる



1、診療所における採血



2、自分で指先穿刺

## 新型コロナ抗体検査とは？

新型コロナ・ウィルスによって発生する抗体（免疫機能）を測定し、感染状況を調べるものです。

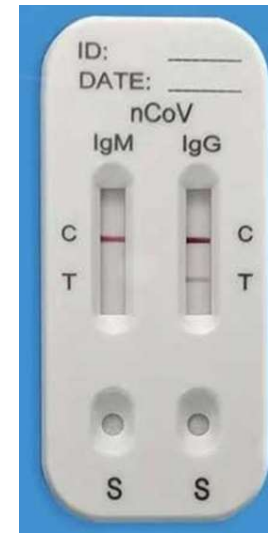
### 検査項目

・IgM抗体…ウィルス感染初期に発生する抗体です。

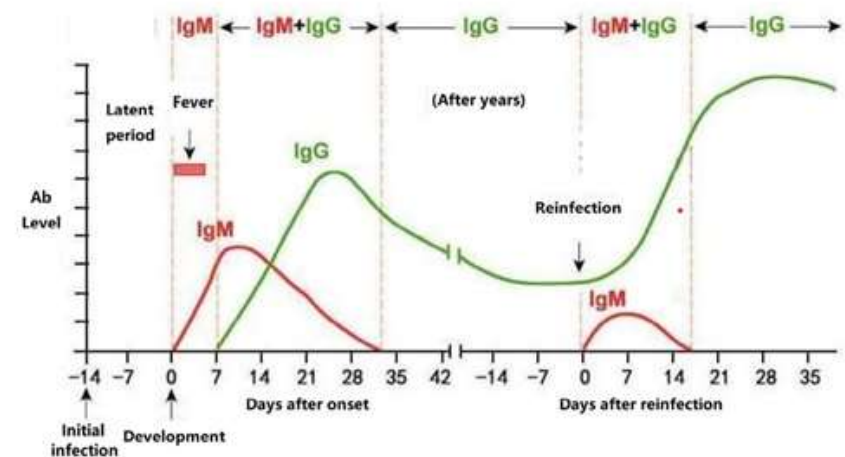
IgM陽性は、他人への感染力がある状態です。

・IgG抗体…ウィルス感染後期に発生する抗体です。

IgM陰性、IgG陽性の場合、  
新型コロナウィルスへの耐性が高い状態です。（個人差があります）



### Significance of IgM & IgG



# 1、診療所における医師検査の流れ

【所要時間】 30分単位で5～6人目安

【会場】 診療所、クリニック

①問診票、同意書記入、検温

→検査結果を企業に提供してもいいという同意を取ります

②採血（5cc）、問診

→指先穿刺（全血）検査も可能ですが、待ち時間が長くなるため、30分に1人ペースです。

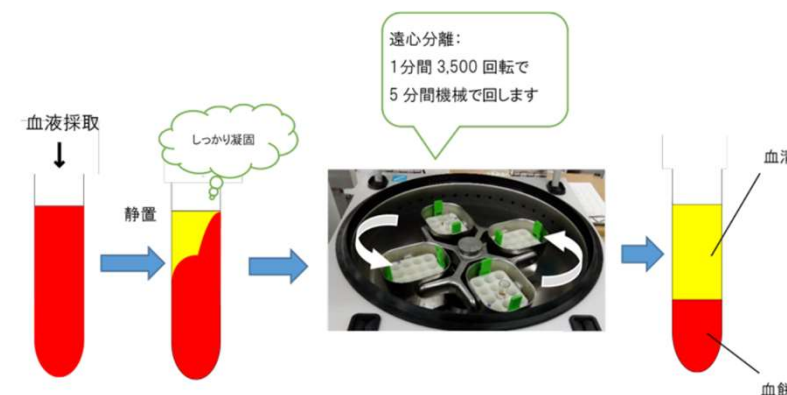
**<受診者はここで終了>**

③血清による抗体検査

→遠心分離によって血清を作成し、抗体検査。

④結果報告

→検査結果は、**翌日以降**に企業へ報告。  
企業経由で、受診者へ連絡。



## 2、客先会議室での自己検査の流れ

【所要時間】 お一人あたり 30分程度

【会場】 清潔な会議室、受付

- ①問診票、同意書の記入、検温
- ②検査方法のレクチャー
- ③ランセットによる指先穿刺（せんし）
- ④指先の採血～抗体検査（15分）、スマホ撮影
- ⑤検査結果を記入して終了
- ⑥【別途費用】 医師（産業医）による助言が必要なら後日、個別で行う。



②検査方法のレクチャー



③ランセットによる穿刺  
④指先の採血～自己検査



⑥医師（産業医）による助言

## 【抗体検査「陽性」だった場合】

### 【IgM陽性】

感染初期、ヒトへの感染の可能性があります。  
ヒトとの接触を避けるようにしてください。

### 【IgGだけ陽性】

過去に感染していた可能性があります。  
ヒトへの感染の可能性は低いとされています。

IgM陽性、IgG陽性の場合は、  
念のため、PCR検査をオススメします。

### 【PCR検査】（自費診療）

最新の「唾液」によるPCR検査が可能です。

→最初から「唾液PCR検査」を実施することも可能です。

### 3、【New】唾液PCR検査の流れ

- ①集合する必要はありません。自宅でOK。
- ②キットを購入し、会社で唾液採取。  
または、被験者自宅へ郵送し、唾液採取
- ③検体（唾液）を検査会社へ送付  
検査結果は、会社に通知する旨の「同意書」を会社へメールしてもらう
- ④検査結果は、医師から会社へ通知されます。